

# 山中湖村 第5次長期総合計画 基本構想・前期基本計画

## — 概要版 —



# 山中湖村第5次長期総合計画概要版



本村は、平成22年5月に「富士山・山中湖と共に生き、人が育ち、人と人がつながり、みんなで築く、活力に満ちた山中湖村」を目指す村の将来像を掲げた「山中湖村第4次長期総合計画」を策定しました。

「第4次長期総合計画」におきましては、その期間中に本村の象徴でもある富士山と山中湖が世界文化遺産に指定され、また、村の資源・資産を生かした地域活性化策をはじめ、誰もが希望を持ち安心して暮らせる環境整備を進めたほか、将来にわたる持続可能なまちづくりを目標に政策を進めてきました。

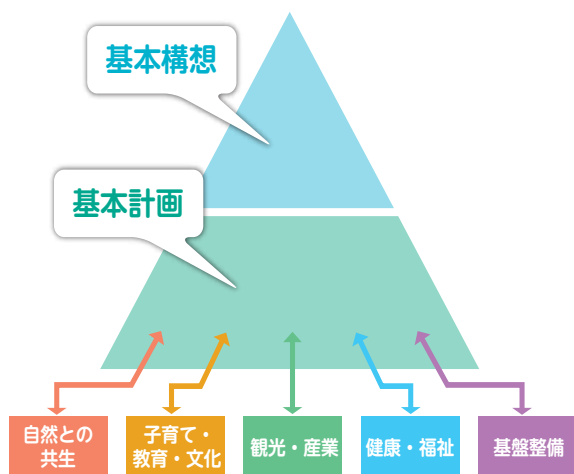
こうした様々な取組を通し、目指す村の姿の実現に向け着実に歩みを進めることができたと考えています。

この第5次長期総合計画は、長期的な展望の下、社会情勢の構造的な変化に正面から向き合いながら、これまでのまちづくりの積み重ねと暮らしのあり方も見直し、さらなる上積みを図る処方を示すものです。

先の見えにくい現代にあって、しっかりと進む方向を定め、村にかかわるあらゆる主体が目標を共有し、協働して取り組んでいくことが大切であると考えます。基本構想に掲げた「名山 富士山によく似合う 希望豊かに日々暮らす 未来へ羽ばたく里をともに築きます」の将来像の下、村民の皆様と一体となって「前期基本計画」を推進し、Society5.0、SDGsなどの時代の潮流をとらえつつ、令和の新時代に合ったこの山中湖村をさらに元気に、そして希望に満ちた、明るい美しい村にしていきたいと考えておりますので、今後のまちづくりにおきまして、皆様方のこれまで以上の主体的・積極的なご参加をお願い申し上げます。

令和2年4月  
山中湖村長 高村 文教

## 【計画の構成と機関】



「基本構想」、「基本計画」で構成し、「基本構想」ではまちづくりの目指していく方向性を、「基本計画」では具体的な取組の内容を示しています。

- 基本構想は、10年間【令和2（2020）年度～令和11（2029）年度】の目指す村の姿を示しています。
- 基本計画は、前期5年間・後期5年間【前期：令和2（2020）年度～令和6（2024）年度、後期：令和7（2025）年度～令和11（2029）年度】として、基本構想の実現に向けて必要となる取組の方向性を体系的に示しています。

# SDGsとの連携

SDGsとは、持続可能な開発目標のことで、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰ひとりとして取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、国としても積極的に取り組んでいます。

SDGsは、その基本理念として、貧困の撲滅をはじめ、世界中の「誰ひとり取り残されない」という、包摂的な世の中を作っていくことが重要であると示されています。これは、住民の福祉の増進を図ることを目的とする地方自治体にとって、目的を同じくするものです。こういったことから、本村では、自治体レベルでSDGsの理念と目標を支えるために、まちづくり総合計画の各分野において、関連する目標指標を掲げることにしました。

長期総合計画において、国際目標であるSDGsを「新しいものさし」として、村民・事業者・行政などそれぞれが、グローバルな問題を地域の視点から、あるいは地域の問題をグローバルな視点から捉える機会となること、そして、SDGsをキーワードに様々な立場の人が連携し、各分野における持続可能なまちづくり事業の推進につながっていくことを期待します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



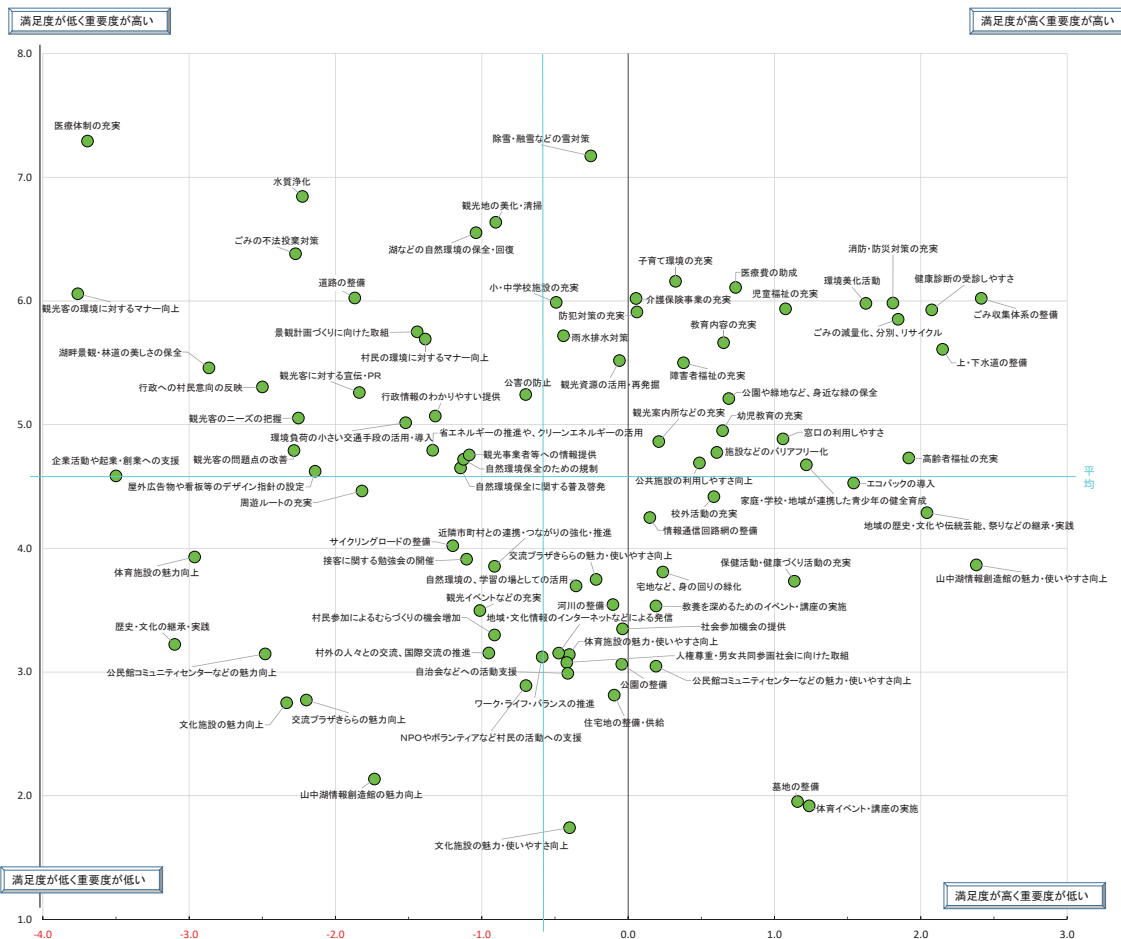
# 満足度・重要度からみる村民ニーズ

令和元年7月に、山中湖村第5次長期総合計画・第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、村民の意識を調査するために、各世帯1人を目安に、18歳以上の村民を対象に、まちづくりの満足度・重要度や山中湖村の将来像のイメージを把握し、計画づくりの基礎資料を得るためにアンケートを実施しました。有効回収数は697、有効回収率は29.0%でした。

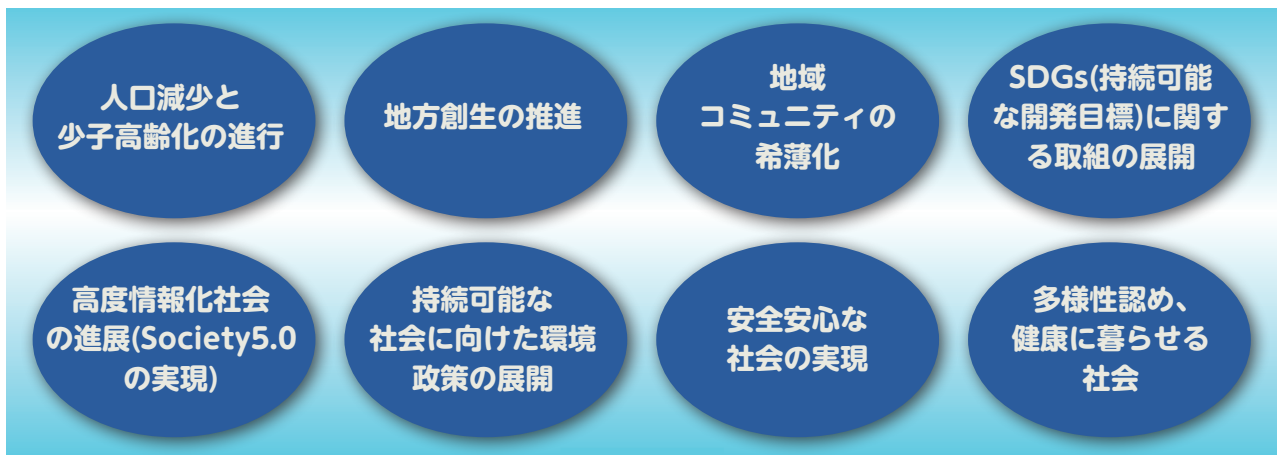
満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、分布図を作成しました。また、満足度と重要度それぞれについて89項目の点数の平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。『満足度が低く重要度が高い』(重点整備)項目は、

- 道路の整備
- 湖などの自然環境の保全・回復
- 自然環境保全に関する普及啓発
- 自然環境保全のための条例や制度による規制
- 村の景観計画づくりに向けた取組
- 無電柱化などによる湖畔景観・林道の美しさの保全
- 屋外広告物や看板等のデザイン指針の設定
- 湖など、観光地の美化・清掃
- 観光客の満足度把握による問題点の改善
- 観光客のニーズの把握
- 観光客に対する宣伝・PR
- 観光事業者等への観光・イベント情報の提供
- 企業活動や起業・創業への支援
- 診療所など、医療体制の充実
- 湖など、水質浄化
- 騒音など、公害の防止
- ごみの不法投棄対策
- 村民の環境に対するマナー向上
- 観光客の環境に対するマナー向上
- 低公害バス等、環境負荷の小さい交通手段の活用・導入
- 省エネルギーの推進や、クリーンエネルギーの活用
- 行政情報のわかりやすい提供
- 行政への村民意向の反映

などがあります。



# 社会の潮流と山中湖村への影響



本村においても、今後の更なる少子高齢化の進行は、福祉・介護等に関する社会保障費の増大、労働力人口の減少による経済の縮小のほか、社会を支える担い手の減少により、様々な場面における地域活力の低下につながる事が懸念されます。

本村で、今後、高齢化が予測される中において、何らかの支援を必要とする人が増加してくること、地域での様々な問題が多様化・複雑化しているという状況からも、誰もが役割を持ち、活躍できる、地域共生社会の実現が求められており、その実現には住民の積極的な社会参加が必要不可欠です。

さらに、ボランティアやNPO等による地域貢献活動や、地域や社会問題を解決するためのコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスなど、目的やテーマに応じて活動する組織（テーマ型コミュニティ）と連携した地域づくりが必要となってきています。

従来の地縁組織に対する支援を進めるとともに、地域課題等に応じて活動する団体をブリッジ的につなぎ、互いの特徴や個性を生かしながら、よりよい地域づくりを進め、個々の興味に応じた活動の場や機会を形成しながら、多くの関係住民がまちづくりに参加できる体制の構築が求められています。

本村の地方創生においても、Society5.0を実現し、また、IoT及びビッグデータ、AIを活用した第4次産業革命のイノベーションを取り入れることで、地域の魅力を最大限に生かし、自立した豊かな村の実現につなげていくことが求められます。

本村の地方創生の取組については、地域に住む人、さらには、地域に住む人と地域外の人との人的交流などにより、新たな価値・魅力を創造する活動や取組を住民や企業、団体などの民間と行政が一丸となって展開していくことが重要となります。とりわけ、自転車を活用した競技やサイクリングの普及による交流人口の増加を図ることは機会を活用した取組となります。

本村においても、誰もとり残されない包括的な地域づくりを村民、事業所、行政が一丸となって進めていく必要があります。

本村において、良好な環境と美しい景観の維持・確保は村の存続にとって根幹となる事柄です。山中湖の水質浄化や訪れる人にも癒しを提供している景観と居心地の良さをさらに向上させていくことが求められます。

本村においても、村民の命と財産を守り、被害を最小限にする減災対策や要配慮者対策、村土の強靱化などに取り組む必要があります。

本村においても、誰も取り残さない包括的な支援体制づくりに努め、地域で共生できる社会づくりを進めるとともに、健康で人生100年時代を過ごせる基盤づくりが重要になってきています。

# わたしたちが目指すもの

## まちづくりの将来像

わたしたちは、これまで以上に、山中湖村が美しい村としてその存在感を全国・世界に示すことができるよう、魅力あふれるまちづくりを進めることを誓い、ここに村の将来像を示します。



名山 富士山によく似合う  
希望豊かに日々暮らす  
未来へ羽ばたく 里をともに築きます

### 責任ある主体として 協力しあう村民と行政

住民は、自立した個人として村政に参画し、行政とともに責任をもって行動する主体的なまちづくりを目指します。

### 環境調和型の 持続する社会づくり

国民の財産である山中湖・富士山の自然を守り、その自然から学びつつ、恵みを生かして、自然と共生しつつ持続していく村を目指します。

### 便利で安全な 生活基盤の整備

各地域との交流が進み、情報を積極的に活用し、災害や事故からも安全な、快適な暮らしづくりを目指します。

### 子どもを育てやすい 環境整備と教育・文化の振興

将来を担う子どもたちが健全に育ち、村に生まれたことを誇りに思う、文化性豊かな村を目指します。

### 健康で支えあう 地域共生社会の形成

少子高齢化が進む中であって、地域の人と人のつながりを強め、地域の課題を共同して解決していける共生型の社会づくりを目指します。

### 観光を基軸にした産業の 振興とそのための魅力向上

観光は村の主要産業であり、産業の一層の振興のため、さらなる村の魅力向上を目指します。

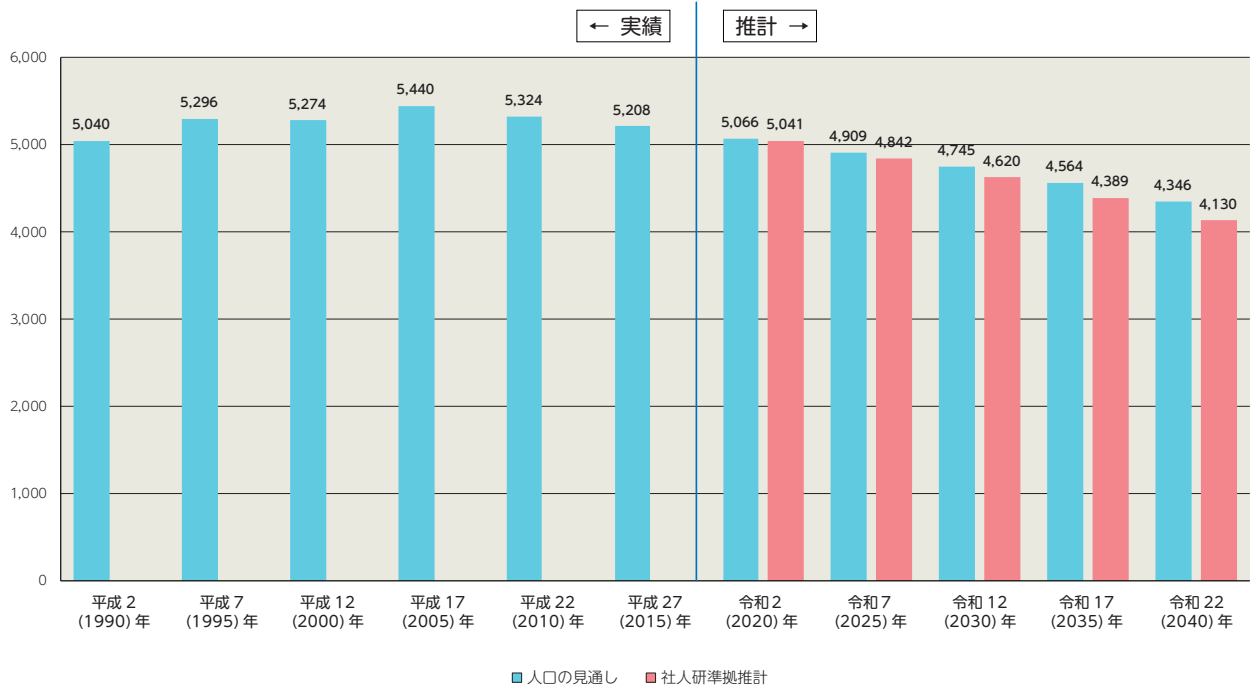
## 施策の体系

将来像の実現を目指した施策の体系は次のとおりです。

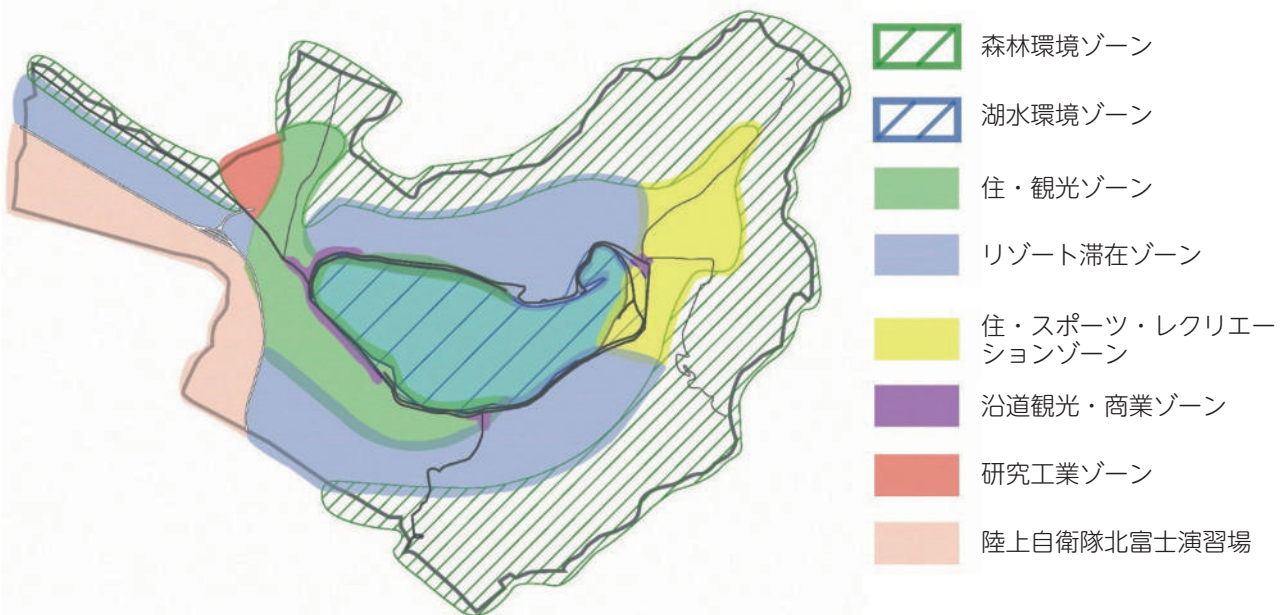
将来像	基本目標	施策
名山 富士山によく似合う 希望豊かに日々暮らす 未来へ羽ばたく 里とともに築きます	1 環境調和型の持続する社会づくり	施策1 自然環境の保全
		施策2 景観の保全と形成
		施策3 山中湖の魅力向上
		施策4 環境衛生と循環型社会の形成
		施策5 上下水道の整備
		施策6 住環境の整備と定住の促進
	2 子どもを育てやすい環境整備と教育・文化の振興	施策7 子育ての支援
		施策8 学校教育の振興
		施策9 生涯学習・スポーツの推進
		施策10 文化・芸術活動の深化・高等教育機関の誘致
	3 観光を基軸にした産業の振興とそのための魅力向上	施策11 観光・交流の推進
		施策12 産業・サービス業の振興
		施策13 地場産業の振興
	4 健康で支えあう地域共生社会の形成	施策14 健康づくり・医療の充実
		施策15 地域福祉の体制整備
		施策16 高齢者の福祉と社会参加
		施策17 障がいのある人の福祉と社会参加
		施策18 困難を抱える人の支援
	5 便利で安全な生活基盤の整備	施策19 道路・交通網の充実
		施策20 防災・減災対策の推進
		施策21 消防・救急体制の充実
		施策22 交通安全・防犯体制の充実
		施策23 高度情報ネットワーク社会への対応
	6 責任ある主体として協力しあう村民と行政	施策24 人権尊重・男女共同参画社会の形成
		施策25 コミュニティ活動の推進
		施策26 情報の共有と計画のPDCA
		施策27 効率的な行財政運営と広域行政

## 人口の見通し

総人口は、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の準拠推計に比べ、令和12年（2030）年で4,750人程度と見通しています。



## ゾーン別の土地利用の方針





## 基本目標 1 環境調和型の持続する社会づくり

連携する SDGs								
	目標4 (教育)	目標6 (水・衛生)	目標7 (エネルギー)	目標11 (持続可能な都市)	目標12 (持続可能な生産と消費)	目標13 (気候変動)	目標15 (陸上資源)	目標17 (実施手段)

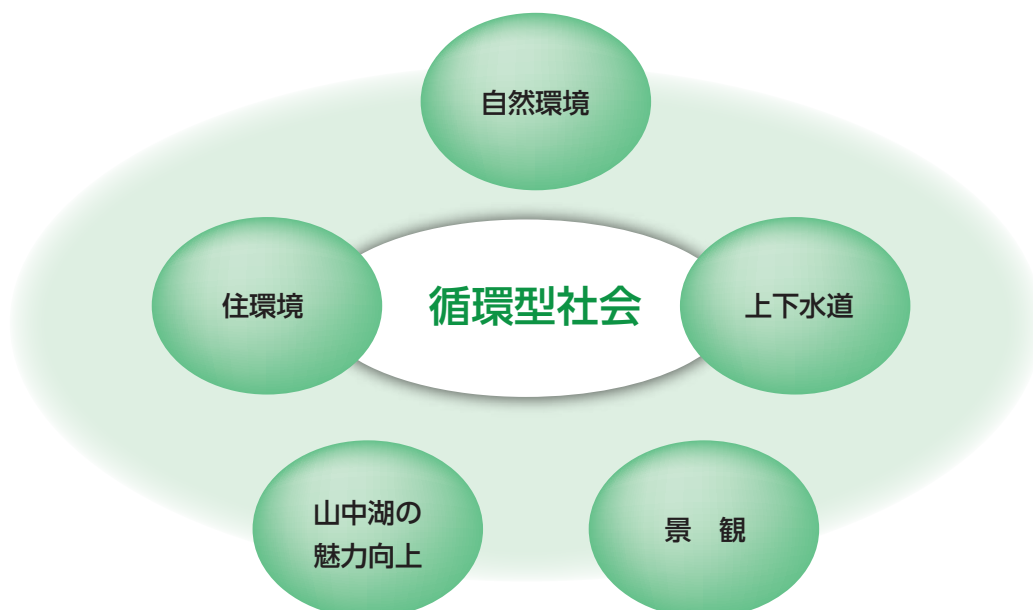
### この分野の施策の体系

- 施策 1 自然環境の保全
- 施策 2 景観の保全と形成
- 施策 3 山中湖の魅力向上
- 施策 4 環境衛生と循環型社会の形成
- 施策 5 上下水道の整備
- 施策 6 住環境の整備と定住の促進

わたしたちは、本村独自の環境文化に裏打ちされた質の高い自然環境と良好な景観の中で暮らしてきました。

これら自然環境と景観は、村に暮らす人々のみならず訪れる人々に快適さやゆとりといった質的な豊かさをもたらし、村を訪れる人々を魅了して、心を惹きつけるという好循環を生み出しています。

この素晴らしい自然環境と景観を次世代に引き継ぐとともに、まちづくりに活用していきます。さらに、暮らしやすい住環境の整備を図り、定住の促進に努めます。



## 基本目標 2 子どもを育てやすい環境整備と教育・文化の振興

連携する SDGs								
	目標1 (貧困)	目標3 (保健)	目標4 (教育)	目標5 (ジェンダー)	目標10 (不平等)	目標11 (持続可能な都市)	目標16 (平和)	目標17 (実施手段)

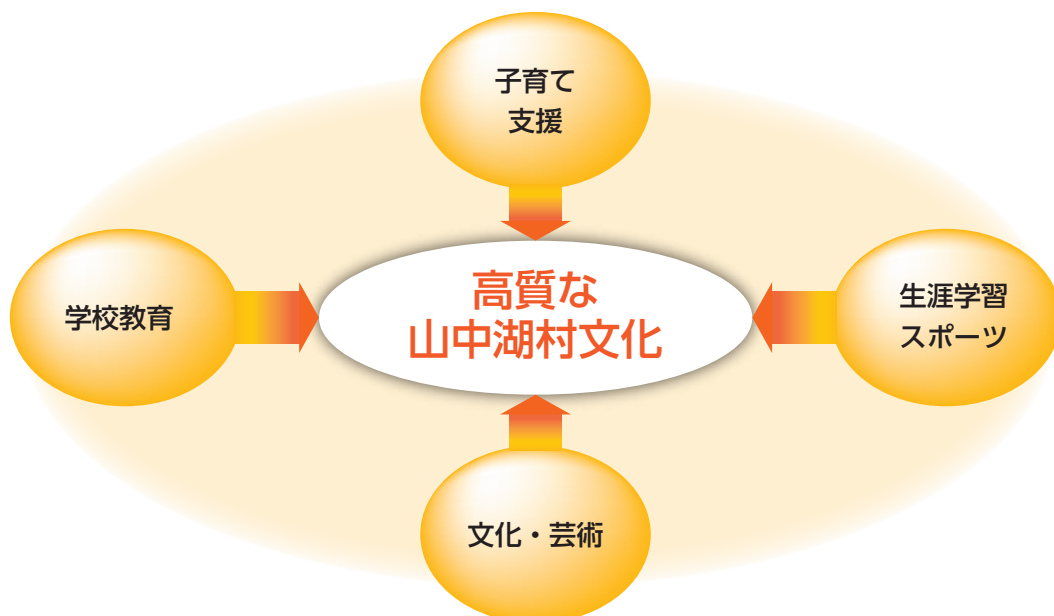
### この分野の施策の体系

- 施策7** 子育ての支援
- 施策8** 学校教育の振興
- 施策9** 生涯学習・スポーツの推進
- 施策10** 文化・芸術活動の深化

わたしたちは、出生数の減少や出生率の低下に伴う急速な少子化や家族構成の変化、地域のつながりの希薄化によって、子育てへの不安感や孤立感を抱いている子育て家庭が多くなってきていること、また、働き方改革の推進や令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化など、子ども・子育てを取り巻く環境の変化に対応して、低年齢児からの保育、子育てに寄り添う教育・保育事業の量と質及び子育て支援施策の充実を目指していきます。

さらに、学校・地域・家庭・行政が連携して、家族愛と郷土愛を育み、個性や創造力を十分に伸ばせるような特色ある教育、保育所・小学校・中学校の一貫した教育を推進していきます。

また、自然・文化・芸術が融合した村の活動を深化させていくとともに、高等教育機関の誘致を検討し、その実現に努めます。



## 基本目標 3 観光を基軸にした産業の振興とそのための魅力向上

連携する SDGs	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 8 働きがいも 経済成長も	 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	 11 住み続けられる まちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任	 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
	目標7 (エネルギー)	目標8 (経済成長と雇用)	目標9 (インフラ、産業、イノベーション)	目標11 (持続可能な都市)	目標12 (持続可能な生産と消費)	目標17 (実施手段)

### この分野の施策の体系

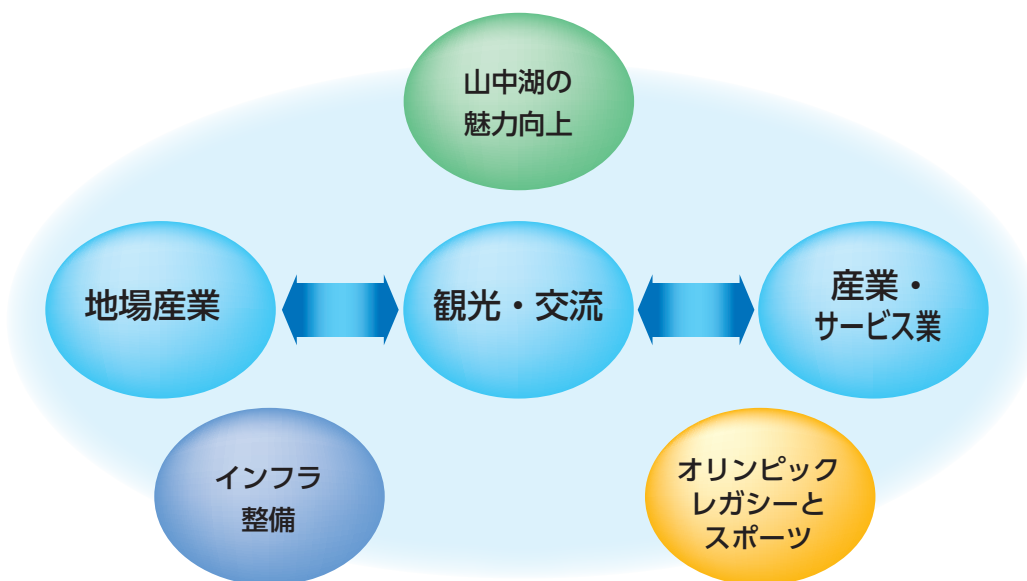
- 施策11** 観光・交流の推進
- 施策12** 産業・サービス業の振興
- 施策13** 地場産業の振興

わたしたちは、これまで築き上げてきた、村の産業経済にさらに活気をもたらし、持続していく村をつくっていきます。

本村に地盤を置くさまざまな産業活動がさらなる活力を得るには、事業所やさまざまな団体・個人が相互に支え合い連携していくことが大切であり、具体的には、高度情報社会、環境調和型社会、高齢社会に対応した本村独自の産業システムを構築していく必要があります。

それは、観光産業からサービス産業まで、付加価値の高いものづくりや高度な情報技術、さらには洗練された企画力をもつシステムになります。

さらに、観光を基軸にしたまちづくりに欠かせないものとして、村のシンボルでもある山中湖の一層の魅力向上と癒しや安らぎを提供できる施設・設備の整備を進めていきます。そして、村外からの外貨を稼いで地域で循環させる経済の確立を目指します。



## 基本目標 4 健康で支え合う地域共生社会の形成

連携する SDGs								
	目標1 (貧困)	目標3 (保健)	目標4 (教育)	目標5 (ジェンダー)	目標10 (不平等)	目標11 (持続可能な都市)	目標16 (平和)	目標17 (実施手段)

### この分野の施策の体系

- 施策14** 健康づくり・医療の充実
- 施策15** 地域福祉の体制整備
- 施策16** 高齢者の福祉と社会参加
- 施策17** 障がいのある人の福祉と社会参加
- 施策18** 困難を抱える人の支援

わたしたちは、高齢化が進むなか、健康寿命が延びていることに鑑み、今後、人生100年時代を迎えて、社会・経済の活力を高め、さらには、社会保障制度を持続可能なものとしていくために、健康寿命を延伸し、生涯にわたって活躍できる社会づくりを進めます。

また、急速な高齢化の進行に対して、これまで、高齢者や障がいのある人が尊厳をもって暮らせる社会の実現を目指し、地域包括ケア体制の構築等に向けた取組を進めてきました。

高齢者のみならず生活に困難を抱える人など、全てのひとびとが安心して暮らすことができ、地域においてお互いに触れ合い、支え合い、そして、いつまでも住み続けたいと思える地域づくりを村民・地域・行政・保健・福祉・介護・医療が連携してその実現に努めます。

### 地域共生社会



## 基本目標 5

## 便利で安全な生活基盤の整備

連携する SDGs								
	目標3 (保健)	目標4 (教育)	目標5 (ジェンダー)	目標8 (経済成長と雇用)	目標9 (インフラ、産業、イノベーション)	目標11 (持続可能な都市)	目標13 (気候変動)	目標17 (実施手段)

### この分野の施策の体系

- 施策19** 道路・交通網の整備
- 施策20** 防災・減災対策の推進
- 施策21** 消防・救急体制の充実
- 施策22** 交通安全・防犯対策の充実
- 施策23** 高度情報ネットワーク社会への対応

わたしたちは、首都圏にも近いという立地特性を生かし、各地との交流をしながら暮らしてきました。

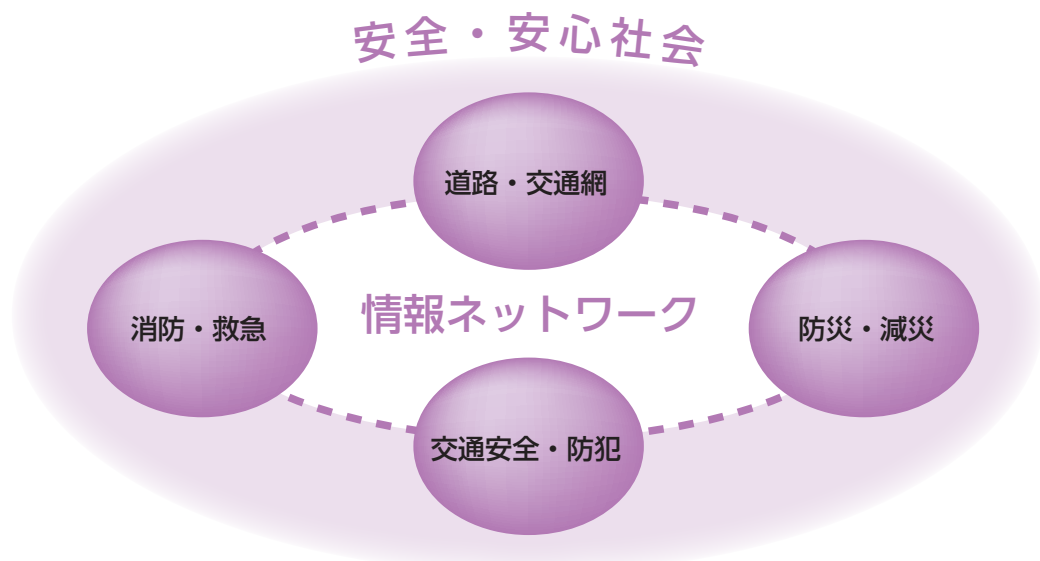
市町村間のネットワークの形成や強化を一層進めて、相互の市町村の活性化や情報発信、協力体制の構築が必要と考えています。このため、広域的なアクセス道路の整備を促進して、公共交通網の利便性を高めていきます。

また、地域交通については、今後のあり方について行政・事業者・地域住民等が協議・検討を進め、地域住民の支え合いによる交通確保や公共交通についての対策を図ります。

一方、わが国では、国土の地理的・地形的・気象的な特性から数多くの大規模災害が発生しており、全国各地に甚大な被害をもたらされています。

このため、防災・減災対策の充実により、安全で安心して暮らせる環境づくりに努めていきます。

さらに、交通事故や犯罪などからの安全性確保や経済活動をはじめ村民の生活全般に大きな影響があるICTの活発な利活用に向けた情報リテラシーやスキルの向上を促進します。



## 基本目標 6 責任ある主体として協力しあう村民と行政

連携する SDGs					
	目標4 (教育)	目標5 (ジェンダー)	目標10 (不平等)	目標16 (平和)	目標17 (実施手段)

### この分野の施策の体系

- 施策24** 人権尊重・男女共同参画社会の形成
- 施策25** コミュニティ活動の推進
- 施策26** 情報の共有と計画のPDCA
- 施策27** 効率的な行財政運営と広域行政

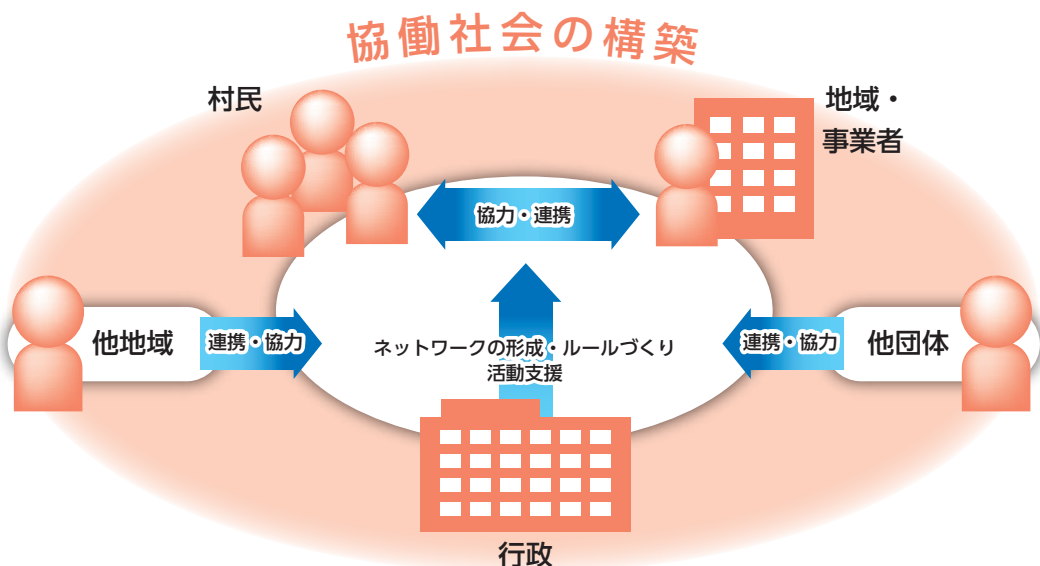
わたしたちは、社会のさまざまな場面や地域のなかで暮らしを営んでいます。

また、住民は、その一人ひとりが社会生活のさまざまな場面で、村政に参加する権利を有し、それぞれが必要な行政サービスを受け一方で、それぞれの行動や発言に責任を負い、負担を引き受けていく必要があります。

住民の責任ある行動の実現のためには、行政は村民の意見や提案を総合的かつ客観的に整理・評価し、そのうえで、それらを具体的な政策としてまとめ、実行していく必要があります。

また、行政はみずからの行財政のあり方をつねに点検・評価し、見直しを進める必要があるとともに、村民による社会生活上のネットワークづくり・ルールづくりに調整者として積極的にかかわっていき、その活動を支えるという、柔軟性と適応性のある行政のあり方を模索していくことが大切です。

わたしたちは、こうした村政参加の理念を最も充実したかたちで実現する村を目指します。





## 山中湖村第5次長期総合計画

---

令和2年4月発行

発行 山梨県南都留郡山中湖村

住所 山梨県南都留郡山中湖村山中237番地の1

電話 0555-62-9971

ホームページ <https://www.vill.yamanakako.lg.jp/>

